

広島市立牛田中学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

神田山の中腹に位置する本校は、豊かな自然に囲まれるとともに、西に太田川や緑の山並みを、南に市街地や瀬戸内海を遠望できる素晴らしい環境の中にあります。神田山は別名「浅野山」と呼ばれ、旧広島藩主の所有地でしたが広島市に寄贈され、その一部が本校敷地に充てられています。



本校は昭和36年4月1日、広島市立幟町中学校牛田分教場として発足し、昭和37年4月1日に幟町中学校から分離・開校し、生徒数は954名（21学級）でした。開校当時からこのような大規模校であり、昭和44年度以降は1,000名を超え、昭和62年度には1,594名（37学級）に至りました。しかし、平成7年度には本校から早稲田中学校が分離・開校し、最近では600名前後となり、本年度は新入生226名を迎え、609名（平成24年4月4日現在）となっています。

校舎の老朽化など、教育条件は優れているとは言えませんが、生徒は意欲的に学習活動や部活動に取り組み、これまでに輝かしい実績が残されています。

本年度は、学校教育目標「豊かな心を持ち、主体的に学び、考え、行動できる人間の育成」の具現化にむけて様々な取組を行い、特に「思考力・判断力・表現力の育成を目指す授業づくり」と「予防的生徒指導の推進」に重点を置いて実践してまいります。

今後とも、保護者・地域の皆様の本校教育推進へのご理解、ご協力をいただきながら、「地域に根ざす活力のある学校」を目指して取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成24年4月 広島市立牛田中学校長 美越克己